

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調査

香川地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
香川地区	1	特色あるスポーツ施設の整備促進	建設計画の重点取組事項である「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」については、現状分析の時点修正・スポーツ施設の再分析を早急に行うとのことではあるが、地域審議会での今までの審議決定事項を尊重していただき、用地については、香南町岡地区空港関連事業用地を購入確保する方向で早急に所有者と交渉を進めていただきたい。また、既に選任済みの基本構想検討委員会において直ちに議論を開始し、早期に基本構想・基本計画を策定し、平成27年度までには必ず整備することを確約されたい。	創造都市推進局	スポーツ振興課	建設計画については、誠意を持って実施するもの、平成24年3月高松市議会において、整備について十分な議論がなされていない等の指摘があり、これまでの考え方を見直し、市民が必要としているスポーツ施設は何か、市議会や地域審議会の御意見を聞きながら、対応方針を明らかにすると答弁を行いました。 今後は、平成21年2月に行った本市のスポーツ施設の現状分析の時点修正を行い、必要としているスポーツ施設の再分析を行い、分析結果等を市議会や地域審議会へ説明し、再度、候補地および施設内容等を協議してまいりたいと存じます。
香川地区	2	保育所の整備および幼保一元化計画	大野、浅野、川東の3地区保育所の施設整備については、今後予想される南海地震など、大きな地震では倒壊の恐れもあることから、子ども達が安心・安全で健やかに育つ環境整備のためにも、速やかに取り組んでいただきたい。 また、幼保一元化は今後の国の動向にもよるが、これからは保護者や現場の保育士、幼稚園教諭の要望・意見を聴取していただき、子ども達や保育士の負担とならないよう、保育形態などにおいて地域事情に十分配慮した取組をお願いしたい。	健康福祉局	こども園運営課	香川地区保育所の施設整備につきましては、平成23年度における香川地区全体および3地区ごとの意見交換会、地域審議会での勉強会の開催に引き続き、今年5月には川東地区の意見交換会を開催し、3地区において耐震性のない保育所を建て替えるという基本構想を策定いたしました。 いずれの地区の御意見も早期の建替えを第一にとのことであり、耐震性の確保は最優先事項であることから、現在、用地の選定および交渉準備（用地や施設配置・規模等の詳細分析および資料作成）を進めるとともに、工事課とも基本設計の策定に向けた協議を行っており、可能な限り早期の建替えを行いたいと考えております。 また、幼保一体化につきましては、去る8月10日に成立した子ども・子育て関連3法における（通称）認定こども園法の一部改正により、現在の幼保連携型認定こども園の課題であります二重行政の解消および財政支援の拡充等を行うことで、移行を促進することとされております。 しかし、保育・教育の内容や設備・運営に関する基準、保育単価、事務手続き等の具体的な中身につきましては、政令、省令等待つ必要があり、また、3法の本格施行のスケジュールについても早ければ平成27年4月とされており、一元的な体制整備のための子ども家庭省の創設や職員の配置基準・処遇の改善および保育教諭の資格統一など、今後の検討課題とされたものも多々ありますことから、国の動向を踏まえながら、本市の実情に応じたものとなるよう検討していきたいと考えております。
香川地区	3	公共下水道施設の早期整備	香川地区における、平成23年度末での公共下水道の整備状況を確認すると、計画面積の整備率が高松市全体では80.9%であるが、香川地区は極めて低く、57.3%であり、整備が大きく遅れている。このため、生活排水などの流入により水路、ため池、河川などの汚濁が進み、特に夏場になると悪臭が発生する要因ともなっている。したがって、今後とも建設費用・維持管理コスト等を総合的に勘案しながら、香川町地域における下水道整備の強力な促進を図り、下水道処理人口普及率を高め、生活環境の改善に努めていただきたい。 なお、香川地域の公共下水道事業の強力な推進計画と進捗状況等について、適宜報告をお願いしたい。	上下水道局	下水道整備課	香川地区の公共下水道につきましては、合併前の平成16年度末は計画面積258.2ha、整備面積123.5haで、計画面積に対する整備面積の比率は47.8%でしたが、平成20年度に145.1haの区域拡大を図ったことにより、計画面積403.3ha、また、これまでの整備により、107.7haの整備面積の増加が図られたことにより、231.2haとなっているところでございまして、面積での整備率は57.3%でございます。なお、高松市全体の計画面積6,569.7haに対する整備面積5,291.7haの割合は80.5%でございます。 平成23年度におきましては、整備面積26.0ha、処理人口約1,500人の整備を行ったところでございまして、平成17年度からの7か年では、整備面積107.7ha、処理人口約4,400人の整備を行っており、下水道普及率は18.7ポイント向上しております（H16末28.5%からH23末47.2%）。これは、高松市全体の伸びが9.0ポイントであることから相当高い伸びを示しております。 なお、本市においては、平成20年3月に策定した、「第3次高松市生活排水対策推進計画」に基づき、生活排水対策として、従来から進めている公共下水道および、公共下水道等の整備が見込まれない地域においては、合併処理浄化槽の整備促進に努め、全地域の下水道化を推進しているところでございまして、今後とも、未整備区域における下水道整備を積極的に推進してまいりたいと存じます。

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調査

香川地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
香川地区	4	伝統文化の保存継承	<p>農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存活動および後継者育成に対して、引き続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承、さらには、これからの担い手となる子ども達への積極的な働きかけや、学校教育とも連携した後継者育成事業を推進するなど、高松市の貴重な文化財として、積極的な支援を要望する。</p> <p>併せて、現在、市のホームページや広報紙等へ「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の公演記事などを掲載し、インターネット等で全国への情報発信にも努めていただいているが、高松市の代表的な文化財として、ポスター等も提供しますので、近県へのPR等にもなお一層努力していただきたい。</p> <p>また、保存会独自に県内外の団体との交流を深めているが、高松市としても、複数団体での共同公演の開催計画など、更なる文化芸術の交流や効果的な情報発信を図るための支援を引き続きお願いしたい。</p>	教育局	文化財課	<p>本市の全国に誇れる貴重な民俗文化財である「ひょうげ祭り」および農村歌舞伎「祇園座」の保存・公開活動や後継者の育成事業に対し、今後も引き続き両保存会に対して、保存・伝承・公開等事業補助金を支出するなど積極的に支援してまいりたいと存じます。</p> <p>また、市ホームページ、広報紙への掲載、報道機関への情報提供、インターネット等を利用した全国への情報発信も継続して行ってまいりたいと存じます。</p> <p>さらに県内自治体はもとより、四国、岡山などの主要な近県の自治体に対してもポスターを発送するなどして、一層のPR等に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、文化芸術の交流や効果的な情報発信を図るための支援についても、引き続き行ってまいりたいと存じます。</p>
香川地区	5	市道の整備	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 全市のみにて、将来は各拠点間を結ぶ路線として、また、高松市南部地域のまちづくりを担う大変重要な路線であることを認識いただき、地域審議会からの要望なども踏まえて、沿線にある市営畜場「やすらぎ苑」や陶芸の里「ふれあい創作館」への利便性も含め、道路の規格、法線などを早急に定め、請願道路として三木綾川線までの延長整備事業を早期に計画・立案されたい。</p> <p>②市道山下横岡線の拡幅整備等 市道山下横岡線の拡幅整備については、市道下川原北線の進捗状況を見ながら、その整備後の交通量の増加状況や交通の流れを検証し、適切に対応していくとの説明であったが、今後交通量が増加することは明白であり、通学路であることから危険性も増大する。幸いに現在まで学生などの事故は起きていないようだが、起きてからでは遅いので事故を未然に防止するためには、拡幅整備について早期に計画・立案されたい。 その他の路線についても、早期整備が図られるよう適切に対処されたい。</p>	都市整備局	道路課	<p>①市道向坂宮下線の早期整備につきましては、平成24年7月3日に香川町地区地域審議会、7月5日に川東校区コミュニティ協議会および川東校区連合自治会から、ルート決定通知と早急な整備の要望を受けたところでございます。</p> <p>今後、このルートの土地所有者、水利等関係者の同意、合意形成が図れ、請願道路としての正式な要望書の提出を受けた後、法線決定等について協議を進めてまいりたいと存じます。</p> <p>②市道山下横岡線の拡幅整備につきましては、現在、この道路につながる市道下川原北線の整備を進めているところでございまして、その整備後に交通量の増加状況や交通の流れを検証し、地域審議会からの御意見もいただきながら、適切に対応してまいりたいと存じます。</p> <p>また、それ以外の建設計画記載の道路につきましては、これまでと同様、請願道路として整備を行う方針でありまして、全市的なバランスにも配慮する中で、引き続き、地域審議会からの御意見もいただきながら、適切に対応してまいりたいと存じます。</p>
香川地区	6	高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持	<p>高松市民病院附属香川診療所においては、医師確保が難しい現状は理解できるが、新病院開院まではあらゆる方策を講じていただき、香川診療所の確実な維持ならびに医師確保に向けての積極的な努力をお願いしたい。地域に根ざした病院であるとの認識の下、香川診療所が現体制より悪くならないよう、市民病院等から応援医師の派遣を継続するなど、引き続き診療体制の確保に努めていただきたい。</p>	病院局	市民病院附属香川診療所事務局	<p>香川診療所では、常勤外科医師の退職を契機に、23年7月から内科・外科については、診療所内で「総合診療科」を標榜し、専門化・細分化された診療ではなく、普段から何でも診て相談を受ける総合診療により、地域の特性を反映した、医療の質の向上に努めております。</p> <p>また、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかるて」の発行や健康教室の実施による「住民参加型の医療の提供」に取り組んでおり、今後とも、必要に応じ市民病院、塩江分院からの応援医師の派遣を継続するなど、新病院開院まで、香川診療所を確実に維持していきたいと考えております。</p> <p>今後、地域住民代表の皆様は、診療所の実状を知っていただき、地域の医療をともに育てていきたいという思いを伝えるため、香川診療所の「経営戦略会議」に、オブザーバーとして参加していただくことを検討しております。</p>
香川地区	7	香川町屋外球技場の風雨対策	<p>香川町総合体育館東隣にある香川町屋外球技場は、平成23年度の利用状況を見ても小・中・高等学校や一般の人によるハンドボール競技で194回、老人会によるベタンク競技で36回、ゲートボール競技で39回（香川町総合体育館調べによる）と、地域に根ざした屋外球技場として盛んに利用されている。しかしながら、屋根はあるものの、側面は何にも覆われていないため、雨、風の強い時には競技に支障をきたし、不自由を感じている現状にあるので、早急な対策を要望する。</p>	創造都市推進局	スポーツ振興課	<p>市内におけるスポーツ施設（41施設）のうち、施設利用者の安全、サービス向上等および本市の財政状況等を勘案して、全施設の中で優先順位を付け、計画的・効果的に施設修繕・改善等を進めてまいりたいと存じます。</p>